

青森県立保健大学広報誌 活彩！保健大学だより

# Campus Magazine

Vol.31

SUMMER  
2014



## オープンキャンパス

平成26年  
8月8日(金)  
10:00~15:00  
(受付開始9:30)

※予約制ではありません。  
多くの方のご来場をお待ちしています。

### 【プログラム(予定)】

- 学科紹介
- 模擬講義
- 展示コーナー
- 実習体験・実験コーナー
- サークル紹介
- 在校生による個別相談コーナー

## 大学祭

平成26年  
10月11日(土)12日(日)

どなたでも  
お気軽にお越しください！

今年のテーマは

**Jumping**

~心の壁を超えていこう~

## 保護者等(後援会)懇談会

平成26年  
10月11日(土)PM

みなさん  
来てください！

優しく丁寧に  
教えてもらえるよ！



モーリー

リンリン®





青森県立保健大学 学長

## 上泉 和子

### はじめまして

私は、生まれは青森県で、高校を卒業後、東京、神戸と居を変えましたが、約 30 年ぶりに故郷の青森に戻り、はや 16 年がたちました。

私の学生時代は、東大紛争は終結したもののいまだ名残をとどめるなかで、一方では高度成長期を謳歌しようとする、そんな時代の学生でした。見るもの聞くものが刺激的で、学生生活、初めての仕事、すべてが楽しかったことしか思い出されません。そして月日がたってみると、まるで鮭が生まれた川にもどるように、自然の流れのままにいま、青森に身を置いています。今は青森の魅力を日々再発見しているところです。冬の厳しさ、百花繚乱の春、爽やかな夏、錦秋の頃、すべてが美しく、愛おしく思われます。そして自然の恵みが私のストレス発散につながっています。特に“温泉♨”は最高です。

時代は過ぎても同窓生はいまだに付き合いがあり大事な友です。その友と約束したことがあります。歳をとって自分のしていることが社会や周りの人たちによく影響を与えるようになったら、最後通牒を遠慮なく突きつけることです。その時は潔く身を引く心構えをもっていなければなりません。

### Q：どんな大学にしたいですか？

A：一言でいうと、学生諸君にとっては、“この大学に入ってよかった”と思えるように、教職員には“この大学で働いてよかった”と思えるように、そして地域の皆様にとっては、“この大学があつてよかった”と思ってもらえるような、そのような大学をめざしていきたいと思ひます。

### Q：保健大学の自慢はなんですか？

A：最も自慢したいところは、本学の風土は“まじめ”であることです。学生は学業にまじめに取り組んでいることはほんとうに感心します。教職員は教学、研究、大学運営に手を抜きません。もちろん大学への不満をお聞きすることもありますし、問題が勃発することもあります。どんなときも真摯に取り組み解決に臨んでいく姿勢は、胸を張って自慢できます。しかし、キチンとし過ぎるあまり、“変革 (change)”が遅くなつては元も子もありません。時代を先取りする迅速な“変革 (change)”ができる組織風土も作っていきたくと思っています。

### Q：保護者の皆様へ

A：学生時代によき友に巡り合えることは幸いなことです。私たちも学生を支援していきたいと思っていますので、保護者の皆様におかれましても、お子様によき友ができるよう、見守ってほしいと願っています。



4月4日、青森県立保健大学講堂において、平成26年度入学式が行われ、学部・大学院合わせて251名の新たな仲間を迎えることとなりました。

これからの大学生活に期待を膨らませる新入生と、それを見守る保護者の方々や来賓の方々、本学の教職員が待ち受ける中、ステージの幕が上がリ、開式の辞が述べられます。

新入生の名前が一人ひとり読上げられ、緊張と期待に満ちた声で返事をする新入生の姿が印象的でした。全員の入学が許可された後、こちらも就任1年目となる上泉学長から、共にかんばっていきましようという励ましの式辞があり、続いて多くの方々からのお祝いの言葉が新入生たちに贈られました。入学生代表宣誓では、赤澤侑香さん(社会福祉学科1年生)が新入生を代表して、夢の実現と社会に貢献できる人材となるために日々成長していくことを誓いました。

新しい仲間を迎えての新たな1年が今年も始まります。本学で積んだ経験の一つひとつが、数年後の彼らの大きな成長と夢の実現へとつながっていく、今日はまさにその第一歩を踏み出した記念日であることを感じさせてくれる入学式でした。

## 入学式

2014  
4.4



# 青森県立保健大学に入学して

## 看護学科

同じ目標に向かって学んでいる友人と笑っている間に、気が付くと入学して3か月が経っていました。大学生活の中で勉強はもちろん大変ですが、日々楽しいことがたくさんあるため充実感でいっぱいです。私には刺激し合える仲間と、目標となる憧れの先輩、そして心から尊敬できる先生方がいらっしゃいます。このように恵まれた環境で学業に励むことができ、私はとても幸せです。

看護学科で行われている実践基礎看護の授業では、将来看護師として働くための基盤となる実践技術を勉強しています。授業をこなすだけでは実力はつかないので、空き時間を上手く活用して患者さんの負担を少しでも軽減できる力を身に付けていきたいと考えています。これから行われる実習や4年間の経験を経て、より一層看護師としての自覚と意識を高めていきたいです。



石田 真子

## 社会福祉学科

保健大学に入学して良かったことは、学びたかった社会福祉を学べていることです。

私が困っている時は、周りの人が助けてくれ、人の心の優しさを実感します。今、夢に向かって勉強できているのは、入学を許可してくださった学長さんはじめライフチャンスを与えてくださった学科長の出雲先生、全学科の先生方のサポートを受け充実した大学生活を送ることができています。

日々支えてくれる人への感謝を忘れることなく、障がいをもっている私にできることを意識し、講義や実習に主体的に取り組んでいこうと思います。

将来は、社会福祉士として障がい者分野で貢献できたいと思っています。



櫻庭 詩奈

## 理学療法学科

青森県立保健大学に入学し、健康科学概論・演習や人間総合科学演習、サークルなどにより、学年や学科の壁を越えて、いろいろな人と親しくしてもらっています。

また、大学生になり、アルバイトも始めたことで、自分で自由に使えるお金や時間が増え、自己責任を強く感じるようになりました。少し成長したと思っています。これからも、人とのつながりを大切に、充実した大学生活を目指していきます。



大澤 咲良

## 栄養学科

勉強やレポートが大変ですが、友達がたくさんでき、毎日楽しく過ごしています。

2年生の方が研修会を企画してくださったおかげで、1年生が先輩と触れ合える機会も増え、勉強も遊びも充実した大学生活を送っています。勉強では、食品学総論が今受けている講義の中で一番好きなのですが、毎回小テストがあるのでドキドキです。

また、初めての一人暮らしですが、ご飯を作ったりお風呂を沸かしたりすることの大変さがよくわかりました。



小林 美貴



2014年5月18日に、恒例の栄養学科新入生研修会を行いました。2年生が準備を進め、BBQなどで交流を深め充実した1日を過ごしました。

## 新入生研修

4月11日(金)・12日(土) 星野リゾート青森屋

### ■学科別研修



### ■全体演習



### ■レクリエーション



この研修は、新入生が同級生・上級生・教職員との交流を通して、不安や疑問を解消し、学生生活を円滑に過ごせるよう支援することを目的に毎年実施されています。

今年も、自治会役員・上級生合わせて30名がサポーターとして参加し、学科別自由討論、レクリエーション、質問コーナーなどを設け、新入生と積極的に交流しました。「履修登録や勉強方法などについて先輩にいろいろ聞くことができた」「先輩の体験談がとてもいいアドバイスになった」「上級生や他学科の学生との交流によりコミュニケーション力が高まった」との声があり、新入生にとって実りある研修となったようです。また、運営に参加した上級生にとっても良い経験でした。自治会としても、新しい組織となって初めての大きな行事に深く関わったことで、役員同士の親睦が深まり、これからの自治会活動への意欲を高めることができました。

来年度もまた自治会・上級生が主体となって、教職員の方々と協力しながら新入生研修を企画し、よりよい研修を実施したいと思っています。

学生自治会長 村上麻衣

## 学生寮

社会福祉学科

寮長：山本 祐未

※写真：左が山本さん

今年の私の目標は「実家のように暮らせるような寮を創る」です。そのために寮生のサポート役、相談役になれるように副寮長の和田さん、本木さんやレジデントアシスタントの先輩の方々と協力していきたいと思っています。また、寮生内での横の繋がりが出来るようにもしていきたいと思っています。今年は昨年よりも寮生が増えたことでいろいろな問題が出ると思いますがそこも寮生全員の協力を得ながら寮生活をよりよいものにしていきたいと思っています。これから一年寮長として責任をもって努力していきますのでよろしくお願いします。

今年から男子寮もでき、人数が増え、新しいあずまし寮がスタートしました。朝掃除や委員会の設置など、去年の反省を踏まえ、様々なところを改善し、より良く生活できる環境にしていきたいと思っています。

去年、寮生活を共にした女子4人と、新しく入寮した男子1人で、先輩・レジデントアシスタントとして、1年生にいろいろな良いアドバイスをしていけるよう頑張っていきたいです。その前にまずは1年生全員の名前と顔を一致させようと思います(笑)。

レジデントアシスタント：香川 愛

※写真：右から2番目が香川さん





## 看護学科

### 授業風景

#### ◎実践基礎看護技術 I

この授業では、日常生活を援助する上で基礎的な技術を体験的に学習しています。



#### ◎人間関係とコミュニケーション

この講義では、人と人との関係性を捉えながら、コミュニケーションの概念を理論的に学んでいます。



学科長  
大関 信子

新学期がスタートして、新緑が美しい季節となりました。1年生も落ち着きを取り戻し、講義、演習にと熱心に取り組んでいます。ほとんどの学生さんは、「大学は楽しい」と言ってくれています。

私たち教員は、皆様からお預かりしたお子様たちを、丁寧に、大切に育てております。国家試験、就職試験をクリアし、無事卒業できるよう、日々、学生を見つめながら努力しております。

ただ、私たち教員は、学生のキャンパスの外のことは把握できません。バイトは自分にプラスになるのか、健康的な生活を送っているか、どのようなお友達と交際しているのか、全く情報が得られません。

大学の4年間は、子どもから大人に成長する大切な時期です。いろいろな悩みや今までの不満も噴出します。この時期、家族の果たす役割は大きいと思います。子どもの全てを受け入れ、個性を尊重し見守ることなど、ご家族の支援が学生さんの成長には欠かせないと思います。

教員と一緒に学生さんが自分の力で逞しく育っていくのを支えましょう。

#### 平成25年度卒業生 近況報告

私は、青森県立中央病院 総合周産期母子医療センターの産科病棟で勤務し、切迫早産や妊娠高血圧症候群といったリスクの高い妊婦さんや、分娩後の御母さん・新生児が快適に過ごせるよう日々援助をしています。まだまだわからないことも多いですが、患者さんへよりよいケアを提供できるよう自己研鑽に励んでいます。

大学の授業や実習で学んだことが日々のケアに活かせるため、在学生の皆さんも一つ一つの学びを大切に頑張ってください！



青森県立中央病院 総合周産期母子医療センター

根川 結花

## 理学療法学科

### 授業風景

#### 基礎運動療法学実習

この科目は、2年次前期に開講され、1年次後期の開講科目である「基礎運動療法学」を踏まえて行う実習科目です。理学療法で行う運動療法では、関節可動域運動、筋力増強運動が基礎的な運動になります。本科目では、これらの多くの種類を実習によって実体験することによって、その本質を学び、運動療法の対象となる患者さんにこれを行うための基礎的素地を涵養します。写真は筋力増強運動のいろいろなやり方を学んでいる実習風景です。実際体験することによって、筋力増強運動がどんなものなのか、そして、患者さんに効果的かつ安全に提供する方法を学びます。



学科長  
岩月 宏泰

本学科では1学年30名の定員に対して、現在19人の専任教員が最先端の医学、理学療法学理論及び技術の実際について指導しています。また、学年担任制をとっているため、担当教員は学部生の様々な相談に親身に応じており、学生生活支援にも力を入れています。さらに、理学療法についての臨床能力を高めるために、教材開発、演習形式の授業の展開、臨床実習の充実などの取り組みも実施し、効果を挙げています。このように本学科では、学部生が将来理学療法士として、地域でヒューマンケアに根ざした理学療法を展開できるよう情熱的に指導するほか、大学院教育も充実させており研究活動にも積極的に支援しています。

#### 平成25年度卒業生 近況報告

私は現在、むつ市にある、みちのくりハビリテーションセンターで外来リハビリテーションのスタッフとして理学療法業務に従事しています。

主に廃用症候群や運動器疾患の患者さんを担当し、運動療法や物理療法などを行っています。入社して約2か月、知識や技術もまだ足りないところが多いですが、様々な経験をしながら頑張っていこうと思っています。

在学生の皆さんもテストや実習など大変なこともあると思いますが、大学生活を楽しみながら頑張ってください。



みちのくりハビリテーションセンター

小松 杏衣

## 社会福祉学科

### 授業風景



ソーシャルワーク演習Ⅲ



人体の構造と機能及び疾病



児童福祉論



介護技術論



学科長  
出雲 祐二

社会福祉を学ぶ上では、相談に不可欠なコミュニケーション能力が求められます。しかし最近の学生さんはこのコミュニケーション能力が未発達のように思われます。とりわけ、学生さんと話をすると、学生さんから疑問や質問、反論が少しも出されません。相手が語った内容や意図を自分でしっかりと考えないから、疑問も質問も湧かないのではないのでしょうか。コミュニケーション能力には相手が語ったことを自分で考え、そこで生まれた自分の理解を相手に確認したり、質問したりというプロセスが必要です。相手の話を聞きながら、同時に自分で考える作業が必要です。保護者の皆さんには学生さんのコミュニケーション能力の発達にご協力ください。

### 平成25年度卒業生 近況報告

卒業、就職をしてから早くも二ヶ月が経ちました。4月は初めてのことで、先輩方の後を付いていくのに精一杯であったという間の一ヶ月間でした。最近では、インテーク面接や入院対応、関係機関との連絡調整などを任せてもらえるようになり、徐々にではありますが業務にも慣れてきて、ケースワーカーという仕事にやりがいを感じています。時には失敗してしまうことや、後で振り返ってみるともっと良い対応の仕方があったと後悔することも多々あります。ですが、患者様の「話してみても良かった」「お世話になりました、ありがとうございました」などの言葉に励まされています。また、相談室の先輩方をはじめ職員皆様のご指導・ご鞭撻もあり、日々の業務をこなすことができています。

今後も慢心することなく、日々の業務をこなし、青森県立保健大学での学びを活かした私だからこそできる支援を模索し、実践へと繋げられるよう精進していきたいです。



なかよし相談室の皆様と

一般財団法人愛成会 弘前愛成会病院

高木 駿平

## 栄養学科

### 授業風景

#### 生化学実験Ⅰ（2年生）

糖質の性質と特徴を理解するために様々な反応実験を行っています



#### 公衆栄養学実習（3年生）

各班で行った食事調査について発表しています

#### 卒業研究（4年生および大学院生）

ここの研究室では毎月報告会を行い、実験結果、進捗状況や問題点を報告し、議論しているところです



学科長  
佐藤 伸

栄養学科は、今春、3期生を無事に社会へ送り出すことができました。就職率や管理栄養士国家試験合格率は例年に劣らず高いものとなりました。これは、自分たちの目標を見据えて励んできた3期生の努力の結果といえます。もちろん、保護者の皆様や地域の皆様の支えがあったからこそその結果でもあります。栄養学科は、4月に新入生を迎え、今年も「食と健康の専門家」を目指して学生たちとともに歩んでおります。保護者の皆様、地域の皆様、そして同窓生の皆様、どうぞ、栄養学科への応援をお願いします！

### 平成25年度卒業生 近況報告

♪お仕事を教えてください。

「私は青森県教育委員会に採用され、4月から栄養士として中泊町立中里小学校に配属されました。現在は中泊町学校給食センターで、町内の小学校4校と中学校2校の給食を作っています。」

♪約2ヶ月が経ってどうですか？

「センターは5年前にできたばかりで新しく、設備も整っています。大学で学んだ多くのことが役に立っていますが、私には初めてのことで、調理員さん達への指示一つにしても経験のなさを痛感しています。でも、学校へ行った時に子供達から『美味しかった』と言ってもらえる、達成感とやる気がわいてきます。」

♪今後の抱負を聞かせて下さい。

「今は前任者から引き継いだ仕事をこなすので精一杯ですが、これからは子供達がどうしたら喜んで食べてくれるかを考えた献立を作成したり、食への感謝を忘れない食育をしたいと思っています。」



中泊町立中里小学校

渡邊 紗綯



## 後援会会長からのメッセージ

後援会会員の皆さまには、ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
 今年度も後援会会長を務めさせていただくことになりました高田です。  
 本学は開校以来16年が経過しましたが「ヒューマンケア」を志向し、実践的な社会人育成に向けた専門性の高い大学として、着実にその存在感を高めてきております。  
 後援会も皆様のご理解をいただきサークル活動などへ色々な場面で支援を行っております。  
 本年5月に行われた津軽三味線日本一決定戦で本学三味線サークルが団体の部(団体りんごの部)で準優勝に輝く成果を収めました。また、全学生が日々ボランティアを含め活躍しています。  
 後援会としても会員の皆さまのご協力のもと、学生の成長を見守っていきたくと考えておりますので、今後ともよろしく願い申し上げます。



後援会会長：高田 一憲

## 平成26年度青森県立保健大学後援会役員名簿

会 長	高田 一憲	栄養学科3年	理 事	岩崎 久暢	看護学科1年
副会長(理事)	佐藤 金司	理学療法学科3年		大澤 琢哉	理学療法学科1年
	藤田 義幸	看護学科2年	監 事	永山 真理子	理学療法学科4年
理 事	織田 大助	社会福祉学科3年		神 悦子	看護学科3年
	大坂 大	社会福祉学科2年	顧 問	角濱 春美	学生部長
	石川 武	栄養学科2年			

## 平成25年度 青森県立保健大学 後援会決算書

(収入の部) (単位：円)

項 目	予算額(A)	収入額(B)	比較(B-A)	摘 要
1 会費収入	12,137,500	12,207,500	70,000	@50,000 × 230人 (学部学生) @25,000 × 11人 (編入学生：看護) @37,500 × 2人 (編入学生：社福) @37,500 × 1人 (編入学生：栄養) @20,000 × 16人 (大学院生)
2 前年度からの繰越金	19,050,369	19,050,369	0	
3 雑収入	2,816	2,968	152	預金利息等
合 計	31,190,685	31,260,837	70,152	

(支出の部) (単位：円)

項 目	予算額(C)	支出額(D)	比較(D-C)	摘 要
1 会議費	81,000	36,000	△45,000	後援会総会・理事会等出席に係る役員の交通費
2 事務費	88,000	87,880	△120	保護者等懇談会の開催案内発送費
3 事業費	11,438,000	11,068,062	△369,938	
(1)サークル活動助成費	1,393,000	1,264,948	△128,052	自治会活動費、サークル助成費
(2)大学祭等助成費	1,500,000	1,500,315	315	大学祭運営費
(3)会報誌作成費	140,000	133,650	△6,350	「後援会だより」・「保健大学だより」の統合により費用折半
(4)学生福利厚生費	1,734,000	1,872,974	138,974	肝炎検査、貧血検査、実習に係る諸検査費用
(5)国際交流助成費	100,000	100,000	0	仁済大学(韓国)への学生派遣
(6)就職対策費	320,000	164,000	△156,000	4年生対象ガイダンス、3年生対象ガイダンス
(7)卒業関係助成費	3,705,000	3,684,915	△20,085	卒業関連事業助成、卒業研究助成、特別・課題研究助成
(8)新入生研修費	2,496,000	2,304,120	△191,880	新入生に対する学内研修及び学科別交流に要する昼食代等
(9)その他	50,000	43,140	△6,860	大学院生関連事業
4 予備費	100,000	0	△100,000	
小 計	11,707,000	11,191,942	△515,058	
5 次年度以降事業費	19,483,685	20,068,895	585,210	
合 計	31,190,685	31,260,837	70,152	

\*次年度への繰越金 20,068,895円(総収入31,260,837円 - 総支出11,191,942円)

## 平成26年度 青森県立保健大学 後援会予算書

(収入の部) (単位：円)

項 目	(A)25年度予算	(B)26年度予算	比較(B-A)	摘 要
1 会費収入	12,137,500	11,947,500	△190,000	
2 前年度からの繰越金	19,050,369	20,068,895	1,018,526	
3 雑収入	2,816	2,968	152	預金利息等
合 計	31,190,685	32,019,363	828,678	

(支出の部) (単位：円)

項 目	(C)25年度予算	(D)26年度予算	比較(D-C)	摘 要
1 会議費	81,000	81,000	0	後援会総会・理事会等出席に係る役員の交通費
2 事務費	88,000	91,000	3,000	保護者等懇談会開催案内等送料他
3 事業費	11,438,000	11,894,000	456,000	
(1)サークル活動助成費	1,393,000	1,294,000	△99,000	自治会活動費、サークル助成費
(2)大学祭等助成費	1,500,000	1,500,000	0	大学祭運営費
(3)会報誌作成費	140,000	145,000	5,000	「後援会だより」・「保健大学だより」の統合により費用折半
(4)学生福利厚生費	1,734,000	1,798,000	64,000	肝炎検査、貧血検査、実習に係る諸検査費用
(5)国際交流助成費	100,000	100,000	0	仁済大学(韓国)への学生派遣
(6)就職対策費	320,000	320,000	0	4年生対象ガイダンス、3年生対象ガイダンス
(7)卒業関係・国家試験対策関係助成費	3,705,000	3,870,000	165,000	卒業関連事業助成、卒業研究・国家試験対策助成、特別・課題研究助成
(8)新入生研修費	2,496,000	2,817,000	321,000	新入生の学外での宿泊研修に係る宿泊費
(9)その他	50,000	50,000	0	大学院生関連事業
4 予備費	100,000	100,000	0	
小 計	11,707,000	12,166,000	459,000	
5 次年度以降事業費	19,483,685	19,853,363	369,678	
合 計	31,190,685	32,019,363	828,678	

## 学生生活サポート



学生部長 角濱 春美

### 安心して学び、成長できるように

～本学のサポート体制～

人間として大きく成長するこの青春時代を、泣いたり笑ったり、進んだり止まったりしながらも、充実して過ごしてもらいたい、と切に願い、教員や職員は、学生が「**自分の頭で考えて、自分の足で立つ力を身につける**」ことを目標に、支援体制や個々の能力の向上に努めています。

### 身体と精神の健康を守る

保健管理委員会という組織を設けてサポートしています。「援助」を現場で実際に行う授業が多いというわが大学の特殊性に合わせて、予防接種の推進なども行っています。

### 自立した楽しい学生生活を守る

授業料減免や奨学金を公正に適用できるように体制を整えています。また、学園祭やサークル活動、卒業記念パーティーなどについて、学生を主役としながらも、安全に実施できるように学生委員会の担当委員がサポートしています。大学生は高校時代と違い、格段に自由度の高い生活を送ることになります。事件や事故に巻き込まれるリスクも高まるため、入学時に手厚い教育を行っています。詐欺などに合わないための教育、護身術、自らの健康を守る方法など、その内容は多岐にわたっています。

### なりたい自分になるサポート

目指す国家試験に合格できるように、各学科が特殊性に合わせた支援を行っており、高い合格率を維持しています。就職対策についても専門の委員会を設けています。本学の学生が“ほしい”という病院、施設や企業の皆様に声をかけ、本学学生のみが対象の説明会を開催し、年間を通じて就職活動セミナーを開催しています。高い就職率を維持するとともに、満足できる就職ができるように支えています。

## 心だって病気になる

私たちの心は、体と同じように元気がなくなると病気になることがある。次の問いに「ある・ない」で答えて、「ある」のところはどうすればよいか考えてみてください。

check

- つらいけれど頑張り続けていることがある。
- 誰かに言われたりされたりしたことで、とても嫌なことがある。  
また、反対に誰かに言ったりやったりしたことで「しまった」と後悔していることがある。
- やることが一杯あって、勉強に身が入らなかったり、とても疲れる。
- 何もする気が起きないことがよくある。
- イライラ、ムカムカしたり、突然悲しくなったりすることがよくある。
- 「自分は一人ぼっちなんだ」と孤独に思うときがよくある。



保健嘱託員  
大里 美佐子



心を楽しむためには、お風呂にゆっくり入ったり、睡眠をたっぷりとったり・・・。また、悩みは言葉にした瞬間小さくなるもの、家族や友だちに相談してみよう。保健室や学生相談(毎週木曜日カウンセラーさん来校)を使うのも一つの手立て。一人で悩んでいないで、保健室のドアをノックすることもお勧めです。

## 年間スケジュール

4月

- ・入学式
- ・新入生研修



5月

- ・公開講座



7月

- ・前期試験



8月

- ・ケア付き青森ねぶた(3日)
- ・オープンキャンパス(8日)

9月

- ・集中講義

10月

- ・大学祭(11日、12日)



1月

- ・後期試験

2月

- ・集中講義

3月

- ・卒業証書学位記授与式(10日)





# 国家試験合格率

## 看護学科

**看護師** 99.1%  
(合格者105名/受験者106名)

**保健師** 96.5%  
(合格者110名/受験者114名)

**助産師** 100%  
(合格者5名/受験者5名)

## 理学療法学科

**理学療法士** 100%  
(合格者31名/受験者31名)

## 社会福祉学科

**社会福祉士** 76.6%  
(合格者36名/受験者47名)

**精神保健福祉士** 100%  
(合格者14名/受験者14名)

## 栄養学科

**管理栄養士** 97.0%  
(合格者32名/受験者33名)

- ★すべての試験種別で、全国平均の合格率を上回りました。
- ★社会福祉士の合格率は、**全国第2位**(受験者40名以上の全国の養成校83校中)でした。

全部の合格率が  
全国平均より  
上なんだって!



# 就職サポート・就職率

## 就職合同説明会

本年も昨年以上に施設・病院様にお集まりいただき盛況のうちに就職合同説明会を開催しました。



5月31日(土)  
リンクステーションホール青森にて

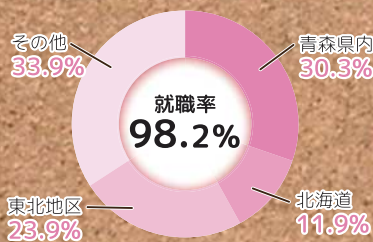


6月7日(土)  
本学交流センターにて

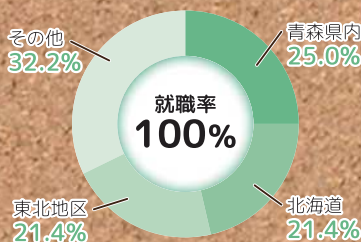


## 就職率

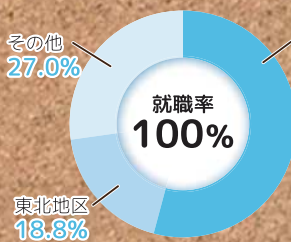
### 看護学科



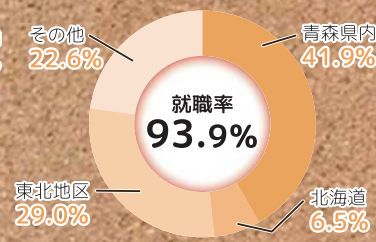
### 理学療法学科



### 社会福祉学科



### 栄養学科



「ヒューマンヘルスサイエンス & アートの探求」

## 青森県立保健大学大学院

健康科学研究科 健康科学専攻

### 博士前期課程

- ◆収容定員：40名(入学定員20名)
- ◆修業年限：2年(社会人長期在学コースは3年)
- ◆学 位：修士(健康科学・社会福祉学・看護学)



### 博士後期課程

- ◆収容定員：12名(入学定員4名)
- ◆修業年限：3年
- ◆学 位：博士(健康科学)

## 大学院で「短命県脱出」に向けた研究をしてみませんか？

大学院では、基礎から応用研究に至るまで幅広い研究テーマに、大学院生が日夜取り組んでいます。特に青森県で大きな課題となっている「短命県脱出」につながる研究については、さらに重点的に取り組んでいく予定です。自分自身のステップアップとともに、研究を通じて地域の人々の「健やか力」アップに貢献してみませんか。



健康科学研究科長 吉池 信男

発行：青森県立保健大学 広報委員会・青森県立保健大学 後援会



公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

青森県立保健大学